

2023年の横浜港ビッグニュースを発表します

港湾局では毎年、その年の横浜港に関連する主要なニュースを「ビッグニュース」として発表しています。このたび、2023年のビッグニュースをまとめましたので、お知らせします。

《主なニュース》 ※ニュースの詳細な内容と写真は、別添資料をご覧ください。

＜国際競争力強化への取組＞

本牧ふ頭に15,000TEU(※)型の超大型コンテナ船が初入港し、また国内唯一の北米東岸航路が新たに就航しました。新本牧ふ頭では、2021年10月の埋立開始以降、建設発生土を今年9月末時点で約165万 m^3 、25mプール約2800杯分受け入れ、埋立が着実に進んでいます。

※ TEU:20フィートで換算したコンテナ個数

＜観光と賑わいの港＞

国際クルーズが本格的に再開し、日本で初めて5隻のクルーズ船が同時に着岸しました。

郵船クルーズ株式会社が建造を進めている新造クルーズ船「飛鳥Ⅲ」について誘致活動を進め、船籍が横浜港に決定しました。

＜カーボンニュートラルポートの形成＞

横浜脱炭素イノベーション協議会を設立し、横浜が目指す脱炭素イノベーションの方向性を発表しました。本牧ふ頭に超大型LNG燃料コンテナ船が初入港し、またA突堤においては、全国に先駆け、陸上電力供給設備の整備に着手しました。



本牧ふ頭に15,000TEU型の超大型コンテナ船が初入港



写真提供：郵船クルーズ株式会社

「飛鳥Ⅲ」の船籍が横浜港に決定



MSC「BELLISSIMA」

国際クルーズが本格的に再開、国内初の5隻同時着岸



写真提供：国土交通省

関東地方整備局京浜港湾事務所

本牧ふ頭に超大型LNG燃料コンテナ船が初入港

お問合せ先

港湾局賑わい振興課長 高嶋 美穂子 Tel 045-671-2874